

## 平成17(2005)年 第14回三島ゆうすい会総会

3月12日(土)、三島ゆうすい会第14回総会が開催されました。当日は、第6回日本水大賞・環境大臣賞を受賞された西岡昭夫さんの講演会「楽寿園・小浜池湧水の仕組みと将来～受賞研究の中から～」、交流会があわせて開催されました。講演会から続く交流会では、時間を忘れて水談議をかわし、参加者一同、水への思いを新たにするとともにとなりました。



△緻密なデータに基づく長年の研究成果を講演する西岡昭夫さん

平成17年3月12日(土)午後5時より、第14回三島ゆうすい会総会が、Via701にて開催されました。

塚田冷子三島ゆうすい会会長の挨拶の後、来賓の小池政臣三島市長や森一三島市議会議長の祝辞で、三島ゆうすい会の活動に対して大きな評価と励ましをいただきました。

次に、議長を岩田重理理事、議事録署名人を小野徹顧問、杉橋芳夫運営委員とし、第1号議案から第7号議案までが審議の後、承認されました。議案説明報告では、事業関係を秋山峰治事務局長、決算・予算関係を大村洋子理事が行いました。

引き続き、講演会は、三島ゆうすい会専門家会議のお1人でもある西岡昭夫さんの、演題「楽寿園・小浜池湧水の

しくみと将来～受賞研究の中から～」西岡さんは、三島地下水系に関する長年の研究成果が認められ、2004年第6回日本水大賞の環境大臣賞を受賞されました。

西岡さんは詳細で緻密なデータ満載の資料を配布され、富士山南東麓の地下水の仕組みについて熱心に説明。一同、五感を傾け、聞き入りました。富士山南東麓への降雨の三島地下水到達日数を算出する方法で、伊豆島田に68日後、小浜池には、約80日後に湧水が湧き出すという説等。西岡さんは最後に、謙遜されながら、「これは、誰にでもできますから、是非研究を続けていってください」と、次世代への期待を込めて、講演を締めくくられました。会場からは質問が次々と出され、次の交流会も、高度な水談議が続きました。



△講演に熱心に聞き入る参加者

交流会は、須田徳男三島商工会議所会頭の祝辞で始まりました。会場には、折にふれ、「花が花であるために」のさくまひろこさんの歌声が響きました。中でも、三島ゆうすい会会員の上村勝美さん作詞の水車(みずぐるま)(1番～4番)の歌のときには、上村さんはじめ皆が、さくまさんの傍で聞きほれていました。「1、真白き富士の 伏せし水泉となりて 湧き出でぬ 流れを重ね 幾年か いにしえ偲ぶ 水の面まわる まわる 水車 2、湧きてせせらぎ 流れては 木陰を写し 鳥憩う 水草繁り 魚の影・・・(割愛)・・・の音色でもてなさん まわれ まわれ水車」。

なお、総合司会は、水野幾子理事が務めました。



△高度な水談議が続いた交流会



△「水車」を歌うさくまひろこさんと、作詞者である上村勝美さん

# 2004年 第2回「水よ輝け」音楽祭



## 「七草がゆの会」

恒例の「七草がゆの会」が今年も1月7日、塚田医院の庭で行われました。ビタミンが不足しがちなこの時期に7種類の野菜や野草の入ったおかゆを食べることで病気を予防すると言う昔の人々の知恵から生まれた行事です。

この日も昔同様、七草をまな板の上に並べて、それを数人の人達が台所用品のしゃもじ、火箸、すりこぎ、包丁などを持って七草お囃子を歌いながらたたき、温かいおかゆに入れ調理しました。

年々増加していく参加者たちは、栄養たっぷりな温かな七草がゆに舌鼓を打っていました。その後は女性合唱団「コール・ロベリア」の方々と一緒に数々のわらべ歌を歌い、しばし想いを幼い頃に馳せ、楽しいひと時を過ごしました。

△ゲストと出演者の個性あふれる美しい歌声が会場に響きました

### 〔第2回・水よ輝け音楽祭〕

ゲスト：

- 独唱 岡 範子
- ピアノ 杉谷真智子
- ギター 上遠野 忍  
(カトウノ シノブ)

出演：

- 男声コーラス  
夢鳴群
- 女声コーラス  
桜ヶ丘コーラス同好会
- ア・カペラ  
三島市東幼稚園  
スパイラルステップス

昨年12月23日(天皇誕生日)三島市民文化会館大ホールにて、第2回「水よ輝け」音楽祭が開催されました。

出演者それぞれが曲に込めた思いを伝え、それが聞く人の心に沁み込んでいくようで、会場があたたかな雰囲気につまれました。

「街中がせせらぎ事業」のイメージソングである「水よ輝け」は、こうした音楽祭にとどまらずこれからも歌い継がれていくようになればいいねと、来場者の感想もきかれました。



△「水よ輝け」が歌い継がれることを願って、閉会の挨拶をする小松幸子副会長

## ラジオで三島の水辺をご紹介 SBS「澤木久雄のとれたてラジオ」取材体験記

2月3日、SBS「澤木久雄のとれたてラジオ・ふるさとキャラバン IN 三島」という番組に出演させていただきました。

早朝6時15分、三島駅南口に集合です。すでに、パーソナリティーの澤木久雄さん、その他スタッフ7名はいらしてました。三島、裾野、富士の一緒にまわってくださる方も集まってきました。気温は-2.4℃、私は寒さのためより

緊張の為、声は上ずっていました。

5、4、3、2、1と始まり、パーソナリティーは駅の乗客の様子、天候の様子、3日という日をなめらかに話していきます。テレビと違い、言葉だけで説明すること、又、言葉を大切に伝えていくことは、すばらしく、大変なことだと思いました。

白瀧公園の朝霧が立ち込めるさまを、また、皆さんは温泉場みたいと言

いながらも、そこに鴨が泳いでいるのは不思議な光景と言っていました。次いで、源兵衛川へ行き、かわせみが2羽迎えてくれ大感激しておりました。スタッフの方々は初めて見たそうです。鎌倉古道をお話ししながら大社へ8時30分頃到着。大社の説明は、矢田部盛男さんがして下さいました。

9時終了、正味1時間くらいですが、楽しい一時を持つことができました。(塚田冷子)

## 三島梅花藻の里 「杉皮葺き御門」再建！

1月30日(日)、三島梅花藻の里の「杉皮葺き御門」が再建されました。

これは、三島梅花藻の里の建設以来、この湧水公園のシンボルとして、長い間、市民や観光客に親しまれてきた門が、昨年台風21号により倒壊してしまったことから、三島ゆうすい会、NPO法人



△当日の作業・式典の参加者一同

グラウンドワーク三島の支援を受け、遊水匠の会により再建されたものです。

新しい門は、遊水匠の会のメンバーが約3カ月を費やした力作で、材料に檜の間伐材を使い、裏地には不要になった簾を利用、屋根には竹を棟押さえに使用、風情のある仕上がりです。

当日は、素晴らしい晴天のもと、遊水匠の会のメンバーをはじめ、三島ゆうすい会、NPO法人グラウンドワーク三島関係者らが参加して設置作業に汗を流し、見事な出来ばえの門が完成しました。

安全祈願の神事後、緒明実NPO法人グラウンドワーク三島理事長、塚田冷子三島ゆうすい会会



△杉皮葺き御門の通り初め。写真左から緒明実理事長、塚田冷子会長、河崎薫氏

長、佐野美術館の河崎薫さん、日頃から毎日のように三島梅花藻の里を見回り、ミシマバイカモを守っている“三島梅花藻の父”こと青木隆俊さんにより通り初めの儀が行われました。

製作にあたった遊水匠の会の小浜修一郎会長(兼・三島ゆうすい会理事)は、新しく建立された杉皮葺き御門に思いを込めて、「この門を通る人たちに、湧水の大切さや三島市の宝物であるミシマバイカモの大切さを感じてもらいたい」と話していました。

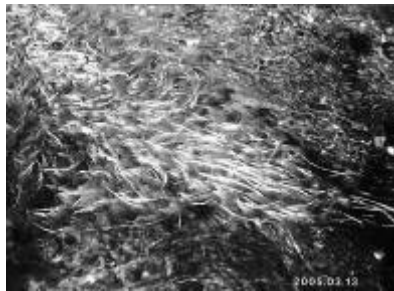
## 源兵衛川に根付いた ミシマバイカモ

昨年7月11日(日)、源兵衛川を愛する会と三島ゆうすい会で、ミシマバイカモを三島梅花藻の里から源兵衛川に移植しました。

そのミシマバイカモが根付いて元気に繁茂しています。小浜他の湧水は秋から増水して水量が多かったためミシマバイカモも根付けたのだと思います。



△昨年7月に行われた移植作業



△源兵衛川に根付いたミシマバイカモ

最近小浜池の水位も下がり源兵衛川の水量も減ってきていますが、夏には白い可憐な花を咲かせてくれるものと楽しみにしています。

## 小さな親切運動・清掃

3月5日(土)、桜川を愛する会の定例清掃にあわせて、小さな親切運動の皆さんによる桜川清掃が行われました。本会からも役員が応援にかけつけ、清掃に参加しました。

## タンポポ式金谷ゼミ卒論発表会 & まちづくりシンポジウム

日本大学国際関係学部の金谷ゼミが、2月5日(土)日大15号館1Fで、午前の卒論発表に引き続き、上記シンポジウムを開催しました。

上田清香ゼミ長らの熱意で打ち合わせを何度も行い、当日は、交流会までの長い1日を大学で過ごしました。

パネリストは、文化・福祉・国際交流・環境分野からの4人で、環境分野で小松幸子三島ゆうすい会副会長が登場。「もし100万円があったら・・・」という課題に、三島ゆうすい会として、①「水よ、輝け！」の歌を街中に広げたい②水にちなんだ物作りを、児童生徒たちと取り組み、水の良さの原体験をしてもらいたい等の提案をしました。

## 「水車補修募金」ご協力のお願い

「水の都・三島」の原風景である「水車のある風景」の復活をめざし、三島ゆうすい会と遊水匠の会では、これまで多くの皆様のご支援をいただき、市民手作り水車の設置活動に取り組んでまいりました。

今では、宮さんの川（蓮沼川）沿いに設置した手作り水車群は、「水車通り」として、市民や観光客の憩いの場として、親しまれるようになりました。

また、現在、宮さんの川「水車通り」の上流には、楽寿園南出口に沿って、「ほたるの里」が建設

され、ますます多くの方が、水辺景観を楽しみに、この“水車通り”を訪れることでしょう。

しかし、平成11年から設置してまいりました、これらの水車も、年月が経過し、用材の腐食や水漏れなどの老朽化が目立ちはじめました。

市民の思いのこもった水辺景観を維持し、今後も市民や観光客の憩いの場として楽しんでいただくために、本会と遊水匠の会では、本年度、水車の補修を予定しておりますが、残念ながら、本会の資金だけでは十分な補修費用の手当てが難しい状況です。



△宮さんの川（蓮沼川）の“水車通り”

そこで、皆様の応援をいただきたく、水車補修費用にあてるための募金活動をおこなうことといたしました。何卒、趣旨をご理解賜り、ご協力いただければ幸いです。

### ◆◆水車補修募金◆◆

#### ○募集締切：

平成17年12月末まで

#### ○受付口座：

郵便振替

0840-4-118192

加入者名 三島ゆうすい会

※払込取扱票の通信欄に「水車募金」とご記入ください。

※最寄りの郵便局備え付けの郵便振替用紙をご利用ください。

※ご芳名を「ゆうすいNEWS」に掲載させていただきます。

### ●“水車通り”上流に完成した「ほたるの里」



△三島市の委託を受け、NPO法人グラウンドワーク三島が整備した「ほたるの里」完成式典（3月5日）



△ホタルの幼虫の放流をする式典参加者（写真左端・塚田冷子会長、中央・秋山峰治本会事務局長）

### 今後の予定

#### 【定期活動（作業等）】

##### ●源兵衛川清掃

原則として毎月第2日曜日 13:00～

水の苑緑地・かわせみ橋集合

長靴、軍手またはビニール手袋持参

「源兵衛川を愛する会」とともに

##### ●桜川清掃

原則として毎月第1土曜日 10:00～

白滝公園集合

長靴、軍手またはビニール手袋持参

「桜川を愛する会」とともに

##### ●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第2日曜 10:00～

三島梅花藻の里集合

長靴、軍手またはビニール手袋、

草取り道具持参

★いずれの定例活動も自由参加です。ふるってご参加ください！

★雨天時は源兵衛川・桜川清掃、三島梅花藻の里は原則としてお休みです

★定例活動等日程はホームページでご案内しています。

#### 【その他の行事・お知らせ】

ホームページの製作・更新、ニュースレター編集の協力者募集中！

#### 会費・ご寄付・資機材支援

##### ●寄付金・募金

水車募金・募金箱 6,901円

（3/12 総会の交流会参加者の皆様に募金いただきました）

##### ●会費ご入金

本年度会費（平成17年分）の納入にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

〈年会費金額〉

・正会費 3,000円

・賛助会費1口 10,000円

〈お振込み先〉

・郵便振替 0840-4-118192

加入者名・三島ゆうすい会

・静岡銀行三島支店

普通預金 No.0346532

・スルガ銀行三島セントラル支店

普通預金 No.572969

・三島信用金庫西支店

普通預金 No.1042399

口座名：三島ゆうすい会

会長塚田冷子

三島ゆうすい会事務局 事務局員は常駐しません。電話の方は留守番電話にメッセージを。e-mail, Fax でご連絡いただくと助かります。

〒411-0857 静岡県三島市泉町5-3 Tel/Fax 055-981-5033

e-mail info●yusui.org URL http://www.yusui.org